

(別紙4(2))

事業所名:グループホームめいほく

目標達成計画

作成日 : 令和6年 3月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	26	本人がグループホームで生活する上での要望や課題などを十分に聞き取れていない。また家族からの聞き取りも入所時に行って以来実施できずようやく年度末になり面談はできたが、計画に反映できていない	職員主導でなく本人や家屋の意向を十分反映させた介護計画を策定し、定期的な見直しと随時計画へ反映する	半年に一度、家族面談を行い計画の見直しを行う。変更がある場合は速やかに計画に落とし込んでいく 6ヶ月
2	35	災害時に迅速に対応ができるような、避難誘導や設備の使用方法など、全職員に周知できていないことが課題。	特に職員体制の少ない夜間帯を想定した訓練が不十分なため、併設する小規模多機能とも連携し、訓練を実施する。また消防署にも立ち合ってもらいアドバイスをもらいたい	年に1回行われる自治会の防災訓練に参加し、災害時の協力体制も具体的に依頼する。全職員が、利用者の避難誘導が適切にできるように訓練に取り組む 6ヶ月
3	33	重度化した場合や終末期のあり方について、入居時に家族や本人の意向を聞き取ることや事業所の方針を伝えることができていない	家族や本人の意向を定期的に確認する。施設として漠然と看取りまでと考えているが、方針と考え方を職員でさらに検討し、一致させたい	家族との面談(年に2回を予定)の際に、意向を確認し、必要な時には随時、何度でも確認する機会を設ける。施設の看取り指針を作成し職員の考えを統一する 12ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。